

135年を貫く「日本を学ぶ」教育 伝統と革新が息づく、 改革に邁進

國學院大學

Kokugakuin University

日本の私立大学として 最も長い歴史を誇る伝統校

再開発が進む渋谷駅東口。街の喧騒を抜けた先に、閑静な文教地区に佇む國學院大學の若木タワーが姿を現す。この18階建校舎を中心とするキャンパスを歩くと、同学が積み重ねてきた重厚な歴史の一端にふれることだろう。大学博物館はそのひとつ。考古遺跡の出土品や祭礼を彩ってきた装束、近世の屏風画など、国の重要文化財を含む貴重な学術資料が数多く並ぶ。さらに『古事記(梵舜本)』や『源氏物語(久我家本)』をはじめとする貴重本等150万冊以上の蔵書を誇る大学図書館は、国内屈指の人文社会系図書館として広く知られている。

い歴史をもつ國學院大學の創立は1882(明治15)年。「国学」の研究・研究・理念の発展を目的とする「皇典講究所」を母体に誕生した。教壇に立った面々には民俗学者の柳田國男、言語学者の金田一京助と、独自ジャンルを切り拓いてきた研究者たちが名を連ねる。こうした人文・社会科学系を中心とする高度な専門性は現在も研究の第1線で活躍する教員陣に脈々と受け継がれている。内外からの期待も大きく、文部科学省「平成28年度 私立大学研究プランディング事業」への採択はその一例だ。

日本文化、歴史をわきまえた 「大人」を養成する改革へ

135年にわたる伝統や学術成果を大切に守りながらも、國學院大學では意欲的な教育改革が進む。それが『21世紀研究教育計画』である。この改革は2012年に始まった第3次計画を経て、第4次計画が今年いよいよスタートとなる。「主体性のある『大人』の育成」を掲げる第4次計画の狙いについて、同学の赤井益久学長は次のように説く。

「國學院大學は、創立より『日本を学ぶ』国学の教育を一貫して実践してきました。そのような私たちが掲げる『大人』とは、日本の文化や歴史を深く理解し、確かな分別と自立性をもった人間のこと。今、グローバル人材の育成が盛んに叫ばれていますが、これには土台となる日本人としてのローカルな部分が欠かせません。そこでグローバル化はもちろん、今後より多様化する社会の変化にも対応できる『大人』を育てるた



(左上)一般にも無料公開する國學院大學博物館。「考古」「神道」「校史」の3つの常設展と、企画展とが通年で楽しめる。(右上)平安時代の月見の集いを再現した秋の『観月祭』は國學院大學の恒例行事のひとつ。神道文化学部を中心に、雅楽や舞を披露。地域住民や近隣の駐日大使館員らも訪れ、毎年多くの人々で賑わう。(左下)文・神道文化・法・経済の4学部のメインキャンパスである渋谷キャンパス。アクセスもよく、渋谷・表参道・恵比寿の各駅から徒歩13~15分という立地だ。2015年春には「國學院科目」を中心に開講するための和室教室を新設した。

グローバルな時代だからこそ、より注目が集まるのが日本の文化・伝統の研究である。創立以来135年にわたり「日本を学ぶ」教育を実践してきた國學院大學。現在、同学で進む教育改革について、赤井益久学長に伺った。

取材・文/酒井 撰

「人文社会科学系の標となる大学」 に向けての決意新たに



國學院大學
学長
赤井益久 氏

國學院大學が創立した1882(明治15)年は、まさに現在の日本が置かれている状況と同じく、国際化の大波に直面した時代です。そのような中であって「正しい自己認識なくして真のグローバル化は成立しない」という想いのもと神道や文学、史学など、人文・社会科学系の総合大学として、本学は135年にわたって「日本」の本質を探究してきました。そこで今一度原点を見つめ直すことで、国内の日本文化研究の拠点として強固な体制を再構築し、「人文社会科学系の標(しるべ)となる大学」になりたいと考えています。

哲学や倫理学は、社会に出てすぐに役に立つ学問ではありません。しかし、これらを学ぶ過程で鍛えた思考力や悩み抜く力が、必ずや徐々に生きてくることでしょう。こと、技術革新など目まぐるしく変化する今、時代を生き抜くために本当に必要となるのはこうした力であると、確信しています。だから私たちは、学生の幅広い知的好奇心に応える多彩なカリキュラムをはじめ、ベストの環境で皆さん一人ひとりの意欲をサポートしていくのです。本学が支柱とする神道の歴史観に「中今(なかいま)」という概念があります。それは過去から連続と連なる「今」があり、その延長に未来があるということ。國學院大學の4年間で充実した「今」を積み重ね、自らの手で未来の可能性をさらに切り拓いてください。

Information

國學院大學



1882(明治15)年創立。神道の研究・教育機関「皇典講究所」を母体とし、日本人が拠って立つ基礎を研究・確立することを目的に開学した。大学令により1920(大正9)年に大学に昇格。私立大学として最初に許可された8大学のひとつである。現在は、文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・人間開発学部の5学部13学科を擁し、渋谷キャンパスのほか、人間開発学部の拠点となる横浜たまプラーザキャンパスがある。

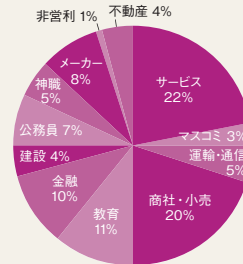
●DATA

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
TEL 03-5466-0141 (入学課)
URL <http://www.kokugakuin.ac.jp/>

●2016年3月卒業生 主な就職実績

就職率 94.7%

(就職者数 1856名)



●民間企業

みずほフィナンシャルグループ
三井住友銀行 / 三菱東京UFJ銀行
野村證券 / 明治安田生命保険 / 大成建設
住友林業 / 野村不動産 / キリンビバレッジ
伊藤園 / 塩野義製薬 / ライオン
日本電気(NEC) / パナソニック / NTTドコモ
東日本旅客鉄道 / 東海旅客鉄道
全日本空輸 / JALスカイ / JTBグループ
エイチ・アイ・エス / 明治記念館 / 楽天
そごう・西武 / セブン・イレブン・ジャパン
良品計画 / テレビ新広島 / 産業経済新聞社
日本郵便 / 日本赤十字社 など

●官公庁

宮内庁 / 金融庁 / 国税局 / 国土交通省
関東運輸局 / 東京税関 / 神奈川県庁
埼玉県庁 / 渋谷区役所 / 世田谷区役所 など

●教職就職者数 179名

公立・私立の小学校、中学校、高等学校

※上記以外の進路傾向としては、大学院・専門学校への進学者や教職再受験の準備者、公務員の再受験者がいます。

めに、4年間かけてこの土台を養う仕組みを用意しているのです」

「日本を学ぶ」知のエッセンス 特色あるカリキュラムの数々

まず、第4次計画で鮮明に打ち出したのが教養重視の姿勢である。これまででも國學院大學では、ひとつの専門に縛ることなく、学部の垣根を越えた横断的な学びができるカリキュラムを早くから整えてきた。例えば、同学を代表する史学も、学生の関心・志向に応じて文学部生以外であつても受講が可能だ。加えて今回は幅広いジェネリックスキルを磨く共通教育プログラムを強化する。

2017年春には文・神道文化・法・経済の4学部の4年間を渋谷キャンパスに一本化し、多くの授業を取りやすい環境を利便性の面でも一段と充実させる。

そして「日本を学ぶ」大学ならではのといえるエッセンスを凝縮したのが『國學院科目』だ。書道や茶道、将棋、礼法など日本の伝統文化・芸能について、各界のプロフェッショナルを講師に体験的に学びを深める。選択科目にも拘わらず昨年度は約600人が受講する人気ぶりという。そのほかにも平安貴族の月見を再現した「観月祭」を毎年開催するなど、日本の伝統文化を身近に感じられる機会を豊富に提供している。

「生命倫理のない医学が成り立たないように、哲学や文学、歴史学、民俗学など幅広い教養は私たちが生きる上で不可欠な土台だと捉えています。数年先の予測も難しい今、本当に必要なのは徹底的に考え抜く力や自ら学び続ける姿勢であり、この力は多様な知の作法と流儀にふれることで養われていくのです。こうして学際性豊かな学びを貫いてきた國學院の教育の成果は、14万人を超える本学卒業生の活躍が確かに証明しているといっても過言ではないでしょう」(赤井学長)

グローバルな時代に生きる学生が今後どう導くのか。伝統と革新が息づく國學院大學の改革は進む。